

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【愛知県立松蔭高等学校】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	愛知県立松蔭高等学校 1年3組（40名） 愛知県立松蔭高等学校 1年5組（40名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育理論 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	学習者にとって身近なアスリートを講師として迎え、オリンピックの意義とその歴史について学び、オリンピックへの関心を高める。また、自分の現在のスポーツとの関わり方について振り返ったり、スポーツに対する自分の意見をまとめたり発表したりするなかで、スポーツの価値や効果について再認識する。
5 取組内容	<p>スライドを用いた教室での授業</p> <p>1 古代オリンピック・近代オリンピックについて 古代オリンピック及び近代オリンピックについて、その歴史や競技の内容、意義等について学ぶ。 【図1】スライド1～4</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>1</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>3</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>4</p> </div> </div>

## 【図2】スライド5～8

1. オリンピックとは⑨ 近代オリンピックの発祥

5 ★

1. オリンピックとは⑨

- 古代オリンピックへの関心の高まり
- クーベルタンによるスポーツを通じた国際平和への期待
- 第1回大会は、1896年の「アテネ大会」(ギリシャ)

6 ★

1. オリンピックとは⑨ クーベルタンという人物

1863年生まれのフランス人貴族  
ピエール・ド・クーベルタン  
少年期の戦争体験(普仏戦争)  
近代オリンピックへの社会的関心  
20歳でイギリスへ留学  
スポーツによる国際平和  
→「オリンピック」の発祥

7 ★

1. オリンピックとは⑨ 近代オリンピックの歴史

実施された競技(9競技)：  
陸上、水泳、ボート、体操、  
レスリング、フェンシング、  
射撃、自転車、テニス

8 ★

## 【図3】スライド9～12

1. オリンピックとは⑨ 芸術競技と文化プログラム

9 ★

1. オリンピックとは⑨ 芸術競技と文化プログラム

- 1912年(ストックホルム大会)から1948年(ロンドン大会)まで
- 建築、彫刻、絵画、文字、音楽の5部門
- クーベルタンも参加、文字部門で金メダル
- 菊田隆治「アイスホッケー」と鈴木米彦「日本古舞踊」の銀メダル
- 1949年に廃止を決定、現在は「文化オリンピック」として継承

10 ★

1. オリンピックとは⑨ 芸術競技と文化プログラム

菊田隆治「アイスホッケー」 鈴木米彦「日本古舞踊」

11 ★

夏季オリンピック  
開催国・都市

12 ★

## 【図4】スライド13～16

冬季オリンピック  
開催国・都市

13 ★

スポーツ  
を楽しむ心

14 ★

する

15 ★

観る

16 ★

### 2 スポーツの価値について

スポーツの価値や効果について学び、自分がスポーツと具体的にどのように関わっていくか考える。

(1) 講師の現在までのスポーツ経験から、スポーツの価値や効果(スポーツは精神的な充足感や喜びをもたらし、人々が生涯にわ

たり心身共に健康で文化的な生活を営む基盤であること。また、スポーツには、自己充実・自己変革を促す力、社会や世界を変える大きな力があること) について学ぶ。

(2) 自分の現在のスポーツに対する思いや関わり方について振り返り、自分なりの意見をまとめグループで発表し共有する。また、各グループで出た意見を発表し、クラスで共有する。

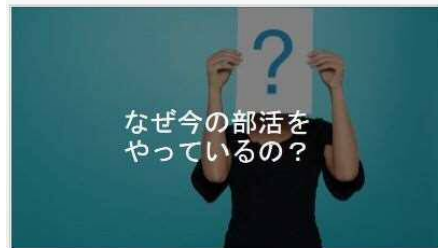
【図5】スライド 17~20



17



18



19



20

【図6】スライド 21~24



21



22



23



24

【図7】スライド 25~28



25

大会	ボランティア数
第23回 (1984年) ロサンゼルス大会	2万8千人
第28回 (2004年) アテネ大会	4万5千人
第30回 (2012年) ロンドン大会	7万人

26

東京2020  
オリンピック・  
パラリンピック  
大会  
×  
する

- ・ 競技日程  
オリンピック (17日間)  
7月24日~8月9日  
パラリンピック (19日間)  
8月25日~9月6日
- ・ 参加国  
オリンピック: 206か国・地域  
パラリンピック: 160か国・地域
- ・ 選手数  
オリンピック: 11,090人  
パラリンピック: 4,400人

27

東京2020  
オリンピック・  
パラリンピック  
大会  
×  
観る

- ・ 競技数  
オリンピック  
33競技339種目  
パラリンピック  
22競技539種目
- ・ 観客数 (予定)  
オリンピック: 780万人  
パラリンピック: 230万人
- ・ 競技会場  
43会場

28

【図8】スライド 29～31



29



30

	大会ボランティア	都市ボランティア
人数	8万人	3万人
活動場所	競技会場 選手村等の大会関係施設	空港・主要駅・観光地 競技会場の最寄り駅周辺 ライブサイト
活動内容	観客サービス 競技運営サポート メディアのサポート	国内外からの旅行者に対する 観光・交通案内 競技会場までの観客の案内 ライブサイト運営のサポート

31

3 まとめ

この授業を通して学んだことや感想を記述する。

6 主な成果	(1) オリンピックへの関心が高まった。 (2) スポーツとの関わり方について理解が深まり、スポーツと積極的に関わっていこうとする姿勢により変化がみられた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	本校の卒業生で、ハンドボールの日本代表選手として2020東京オリンピックに出場する可能性のある現役のアスリートを講師として招くことにより、オリンピックへの関心を高め、オリンピックの価値やスポーツとの関わり方等を身近なこととして考えさせる。
8 主な課題等	今回、講師の日程の都合等により50分授業1コマでオリンピックムーブメント教育の実践を行った。学習者の振り返りの記述から、オリンピック競技大会に対する関心の高まりやスポーツに対して前向きに取り組もうとする姿勢に良い影響があったことが分かった。今後、オリンピック・パラリンピック教育が世界の平和だけでなく、共生社会の実現にも貢献していること等、オリンピック・パラリンピック教育の意義について学習を深めていくためにはさらに時間をかけて授業を計画していく必要がある。
9 来年度以降の実施予定	総合的な学習の時間において、パラリンピックの意義や価値について学ぶ、実技をまじえた授業を実施する予定である。